

ビジネスキャリア学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1 年	48	社会人基礎力演習Ⅰ
1 年	49	ゼミナールⅠ（単位認定者：高野 宏輝）
1 年	54	ゼミナールⅠ（単位認定者：佐藤 和美）
2 年	69	会計学
2 年	101	ゼミナールⅢ（単位認定者：高野 宏輝）
2 年	103	ゼミナールⅢ（単位認定者：薄葉 祐子）
2 年	106	ゼミナールⅢ（単位認定者：佐藤 和美）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング BC-4-SEM-07				
	●		●							
科目名	社会人基礎力演習Ⅰ				単位 認定者	高野宏輝 遠藤憲子 薄葉祐子 今井恵美子 中村徹 佐藤和美 小野寺修 伊藤典博 佐々木仁 吉田幸太郎		評価 の方法	授業内課題	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		小論文	10 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	基本的にはゼミ形式によって、大学での講義の受け方や大学生活全般のルール、授業ノートの取り方、文章やレポートの取り方などを学ぶ。また、グループディスカッションなどでの、コミュニケーションスキルの向上を目指す。									
到達目標	大学新入生が、授業を中心とした大学生活において身につけておくべきさまざまなスキルを修得し、大学生活のいろいろなシーンで活用できるようになる。									
学修者への期待等	学修内容により、1年生全員が合同で受講する場合と各ゼミごとに受講する場合がある。事前に掲示板等で連絡するので、欠席や遅刻をせず、どちらにも積極的に参加すること。また、各ゼミごとの演習では、担当教員の指示に従うこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	【合同授業】ガイダンス、カリキュラムの理解と履修上の注意点、社会人基礎力とは					【事前】シラバスを読んでくる。(1時間程度) 【事後】社会人基礎力チェックシートを振り返り、向上させたい能力を明確にする(1時間程度)				
2	大学生としての学び①アクティブラーニング					【事前・事後】教科書Work11を読み、アクティブラーニングについて理解する。(1時間程度)				
3	大学生としての学び②テーマからトピックを取り出す					【事前・事後】教科書Work12を読み、トピックの作成について理解する。(1時間程度)				
4	大学生としての学び③要約をする					【事前・事後】教科書Work15を読み、要約のプロセスを理解する。(1時間程度)				
5	大学生としての学び④図解で考える、表・グラフを使って考える					【事前・事後】教科書Work16、Work17を読み、図解や表・グラフを使って考える方法を理解する。(1時間程度)				
6	大学生としての学び⑤議論の方法を知る					【事前・事後】教科書Work18を読み、議論の方法を理解する。(1時間程度)				
7	フィールドワーク①企画					【事後】フィールドワークの準備 (1時間程度)				
8	【合同授業】フィールドワーク②運営・参加から実践力を身につける					【事後】フィールドワークの振り返り (30分程度)				
9	レポートの作成①レポートの文章の特徴を知る					【事前・事後】教科書Work19を読み、レポートの文章の特徴を理解する。(1時間程度)				
10	レポートの作成②レジュメを作成する					【事前・事後】教科書Work20を読み、レジュメの作成方法を理解する。(1時間程度)				
11	レポートの作成③レポートの基本を知る					【事前・事後】教科書Work21を読み、レポート本文の組み立て方を理解する。(1時間程度)				
12	レポートの作成④レポートの完成					【事前・事後】教科書Work22を読み、明確な文章の書き方を理解する。(1時間程度)				
13	発表資料の作成①発表資料を作成する					【事前・事後】教科書Work23を読み、発表資料を作成する。(1時間程度)				
14	発表資料の作成②発表					【事前】レポート発表の準備(2時間程度) 【事後】自己評価(30分程度)				
15	社会人基礎力演習Ⅰの学びを振り返る					【事前・事後】資料を読んで復習する(1時間程度)				
教科書	『スタディスキルズ・トレーニング 改訂版』吉原恵子、間瀬泰尚、富江英俊、小針誠 (著)、実教出版									
参考文献	授業中に各教員から指示する。									
備考	・各教員は指定された教室でそれぞれ15回の講義を行う。講義内容や順番は、受講者の理解度等によって変更することがある。授業内で取り組んだ課題は講義の中で解説を行う。 ・学生主体で授業運営を行う、グループワーク中心の講義である。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-4-SEM-09					
	●	●	●								
科目名	ゼミナールⅠ				単位 認定者	高野 宏輝		評価の 方法	授業内課題等	80	%
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20	%
						授業時間数	30 時間				
	授業形態	演習 <th>授業回数</th> <td>15 回</td> <td></td> <td></td> <td></td>	授業回数	15 回							
授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。										
到達目標	①自分の強みを知り、自分らしい「リーダーシップ」を発揮し、チームの目標達成に貢献できるようにする。 ②「マーケティングマインド」を育成し、誰かの役に立てる仕事の重要性を理解できるようにする。 ③イベント運営の経験学習から、目標設定力、計画立案能力や現場対応力の重要性を理解できるようにする。										
学修者への期待等	・ イベント運営を行う。自分なりの強みを活かして、イベントの成功に貢献して欲しい。 ・ グループディスカッションや自身が考えたことをプレゼンテーションするなど、自分やグループの意見をまとめ、発表する機会が与えられる。人の話を聴き、積極的に各自が発言することで、ゼミ活動の活性化に貢献して欲しい。 ・ チーム活動が基本となる。全コマ出席する意思のある学生に参加して欲しい。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンス ゼミの進め方、自己紹介など					【事前】シラバスを読んでくる（30分程度）					
2	チームビルディング チームメンバーの相互理解 グループワーク					【事前】自己紹介シートを作成する（1時間程度）					
3	「シェアド・リーダーシップ」とは？ 自分ができる「リーダーシップ行動」を考える 講義とグループワーク					【事前】①「シェアド・リーダーシップ」の動画を視聴し、感想をまとめる（1時間程度）②自分の「強み」を考えてくる（30分程度）					
4	イベント実践① イベント目標の検討 グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-4回目と合同)					【事前】該当するイベント運営の準備を行う (各回 30分～1時間程度)					
5	イベント実践② イベント内容の決定 グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-5回目と合同)										
6	イベント実践③ イベント計画立案 グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-6回目と合同)										
7	イベント実践④ 運営マニュアル作成 グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-7回目と合同)										
8	イベント実践⑤ 運営準備 グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-8回目と合同)										
9	イベント実践⑥ イベントの実施（2コマ連続） (2年生:ゼミナールⅢ-9-10回目と合同)										
10											
11	イベントの振り返り (2年生:ゼミナールⅢ-11回目と合同)					【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
12	マーケティング体験学習 集客施設フィールドワーク 事前研修 (2年生:ゼミナールⅢ-12回目と合同)					【事前】視察先及び業界情報を調べてくる（1時間程度）					
13	マーケティング体験学習 集客施設フィールドワーク 視察（2コマ連続） (2年生:ゼミナールⅢ-13-14回目と合同)					【事前】事前に該当する訪問施設の情報をインターネット等から情報収集する（1時間程度）					
14											
15	リーダーシップ行動振り返り まとめ（全体を振り返って）グループワーク (2年生:ゼミナールⅢ-15回目と合同)					【事後】UNIPAより振り返り最終レポート作成し提出する（1時間程度）					
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。										
参考文献	必要に応じて各講義中に紹介する。										
備考	・ 第4回～第15回までの12コマは、2年生「ゼミナールⅢ」と合同実施とする。 ・ 課題はUNIPA経由での提出を基本とし、教員評価の後に各学生へフィードバックされる。適宜参考資料をUNIPA内に掲載する。 ・ グループワーク・チーム活動における情報共有にはMicrosoft Teamsを活用する。 ・ 受講者の要望、理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 ・ 準備学修は、各講義の際に必要なに応じて個別に指示する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

旅行会社で顧客に対するイベント企画提案、運営実践の経験がある。イベント業務管理士として、知識と実践に基づく学生指導を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-4-SEM-09				
	●	●	●							
科目名	ゼミナールⅠ				単位認定者	佐藤 和美		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC 学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。									
到達目標	1. 研究方法を理解し、プレゼンテーション能力を高める。 2. 企業と社会との連携の具体について実際に理解し、SDGsの推進について提案できる。 3. 仕事と社会貢献について実際に捉えることが出来、社会福祉に意識を向けることが出来る。									
学修者への期待等	皆さんが社会人として活躍する頃、日本の国民の3人に1人が65歳以上になると見込まれています。一般企業で働く場合でも、高齢の方への理解や適切な対応方法を知っていることは社会が求めるところです。また企業の福祉的役割について探しておくことは、就職活動やその後の社会貢献にも活かすことができます。 誰かに貢献できる一人になることや社会福祉主事任用資格取得を考えている方の履修を期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業計画の理解と目標設定、ゼミの進め方と評価方法等の理解(2年生：ゼミナールⅢ-第1回目と合同)					【事後】1回目授業で提示したワークシートの作成(概ね30分)				
2	社会構造の変化と生活課題について考察する					【事後】社会課題にまつわるワークシートを完成させる(概ね30分)				
3	研究課題についての考察～「ディベート」からの気づきを創る(2年生：ゼミナールⅢ-第3回目と合同)					【事後】「グループワーク/ディベート」の振り返りをまとめる(概ね30分)				
4	研究課題についての考察～「ディベート」と分析(2年生：ゼミナールⅢ-第4回目と合同)					【事後】分析結果をまとめる(概ね30分)				
5	研究課題についての調査～研究の方法の理解(2年生：ゼミナールⅢ-第5回目と合同)					【事後】授業で提示した計画シート等の作成(概ね30分)				
6	研究課題についての調査～報告とフィードバック(2年生：ゼミナールⅢ-第6回目と合同)					【事前】報告後の振り返りシートを作成する(概ね30分)				
7	研究発表①発表(2年生：ゼミナールⅢ-第7回目と合同)					【事前】発表聴講後のフィードバック・気づきをまとめる(概ね30分)				
8	研究発表②意見のまとめと「ディスカッション」(2年生：ゼミナールⅢ-第8回目と合同)					【事後】「グループワーク/ディスカッション」からの気づきをまとめる(概ね30分)				
9	研究発表について振り返りとフィードバック(2年生：ゼミナールⅢ-第9回目と合同)					【事後】授業で提示した振り返りシートの作成(概ね30分)				
10	企業訪問に向けて/SDGsアクションプランの観察(2年生：ゼミナールⅢ-第10回目と合同)					【事前】訪問企業について担当する分野を調査する(概ね30分)				
11	企業訪問とグループワーク(2年生：ゼミナールⅢ-第11回目と合同)					【事前】グループ毎に訪問の目的と役割の確認、整理をする(概ね30分)				
12	企業訪問と調査～訪問先の特性、SDGsへの取り組みや社会貢献、企業が求める人材について(2年生：ゼミナールⅢ-第12回目と合同)					【事後】企業訪問についてのレポート作成(概ね2時間)				
13	フィールドワークと振り返り～目的に照らした振り返りの方法を知る					【事後】プレゼンシートを完成させる(概ね1時間)				
14	テーマについての「プレゼンテーション」(2年生：ゼミナールⅢ-第14回目と合同)					【事後】授業で提示した振り返りシートの作成(概ね30分)				
15	ゼミ活動からの学びの報告と振り返り(2年生：ゼミナールⅢ-第15回目と合同)					【事前】授業内で提示する(概ね1時間)				
教科書	必要に応じて授業内で提示する。									
参考文献	必要に応じて授業内で提示する。									
備考	1. 授業内容は、進度などに応じて変更する場合がある。 2. 訪問先・調査対象については、授業内での話し合いから決定し、訪問先との交渉も実践・体験する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	BC-2-CC0-02				
	●	●		●						
科目名	会計学				単位認定者	鈴木 一樹		評価の方法	授業内課題	85 %
対象学科 必修・選択 配当年次	B C 学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	15 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	会計は、経営活動を貨幣額で記録・計算・報告するシステムであり、会計学はそのシステムを支える理論や技法を学ぶための学問である。企業は、経営活動の成果を「会計」という技法で作成された財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）を通じて明らかにし、外部の利害関係者に報告する。また、会計学は、良い（または悪い）企業を評価する1つの有力なモノサシを提供する。 そこで、本講義では、簿記・会計を初めて学ぶ者を対象として、企業経営に役立つ会計情報の意義と決算書の内容、そして会計の応用分野について、できるだけ分かりやすく解説する。									
到達目標	財務諸表に関する知識や分析を通して、企業の経営状態を判断する能力を身につける。									
学修者への期待等	この講義を通じて、企業の財務諸表に関する会計基準と諸法令、財務諸表の構造、財務諸表が表現する企業の財政状態や経営成績の状況を判断できる能力を身につける。									
回	授業計画					準備学修				
1	「財務諸表」とは					【事後】テキストp2～11を復習する（1時間程度）				
2	貸借対照表Ⅰ（貸借対照表のしくみ、流動資産）					【事後】テキストp13～34を復習する（1時間程度）				
3	貸借対照表Ⅱ（固定資産、負債）					【事後】テキストp35～50を復習する（1時間程度）				
4	貸借対照表Ⅲ（純資産会計） 損益計算書Ⅰ（損益計算書のしくみ）					【事後】テキストp51～69を復習する（1時間程度）				
5	損益計算書Ⅰ（売上総利益、営業利益）					【事後】テキストp70～83を復習する（1時間程度）				
6	損益計算書Ⅱ（経常利益、当期純利益）					【事後】テキストp84～102を復習する（1時間程度）				
7	キャッシュフロー計算書Ⅰ （キャッシュフロー計算書とは）					【事後】テキストp104～116を復習する（1時間程度）				
8	キャッシュフロー計算書Ⅱ （キャッシュフロー計算書のしくみ）					【事後】テキストp116～135を復習する（1時間程度）				
9	キャッシュフロー計算書Ⅲ （キャッシュフローの増減パターン）					【事後】テキストp136～140を復習する（1時間程度）				
10	財務諸表分析Ⅰ（財務諸表分析の基本体系）					【事後】テキストp142～156を復習する（1時間程度）				
11	財務諸表分析Ⅱ（百分比B/S・百分比P/L）					【事後】テキストp157～172を復習する（1時間程度）				
12	財務諸表分析Ⅲ（対前年度比率・対基準年度比率）					【事後】テキストp172～187を復習する（1時間程度）				
13	財務諸表分析Ⅳ（安全性の分析）					【事後】テキストp187～195を復習する（1時間程度）				
14	財務諸表分析Ⅴ（収益性の分析）					【事後】テキストp196～209を復習する（1時間程度）				
15	財務諸表分析Ⅵ（ファンダメンタル分析）					【事後】テキストp210～233を復習する（1時間程度）				
教科書	『ビジネス会計検定試験 公式テキスト3級 第5版』大阪商工会議所〔編〕、中央経済社									
参考文献										
備考	授業内課題については、正答や解説を次回の講義で全体にフィードバックする。 授業の際は、必ず電卓（12桁以上）を持参すること。 講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として監査業務に従事

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
		●	●	●	●	BC-4-SEM-11				
科目名	ゼミナールⅢ				単位 認定者	高野 宏輝		評価 の方法	授業内課題	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC 学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。									
到達目標	①自分の強みを知り、自分らしい「リーダーシップ」を発揮し、チームの目標達成に貢献できるようにする。 ②「マーケティングマインド」を育成し、誰かの役に立てる仕事の重要性を理解できるようにする。 ③「イベント運営」の経験学習から、目標設定力、計画立案能力や現場対応力の重要性を理解できるようにする。									
学修者への期待等	・ イベント運営を行う。自分なりの強みを活かして、イベントの成功に貢献して欲しい。 ・ グループディスカッションや自身が考えたことをプレゼンテーションするなど、自分やグループの意見をまとめ、発表する機会が与えられる。人の話を聴き、積極的に各自が発言することで、ゼミ活動の活性化に貢献して欲しい。 ・ チーム活動が基本となる。全コマ出席する意思のある学生に参加して欲しい。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業ガイダンス（ゼミの進め方等） イベント運営のスキル①目標設定 講義とグループワーク					【事前】 該当する資料や動画を閲覧する（1時間程度） 【事後】 振り返りレポートを提出する（30分程度）				
2	イベント運営のスキル②計画立案 講義とグループワーク									
3	イベント運営のスキル③運営力（ファシリテーション） 講義とグループワーク									
4	イベント実践① イベント目標の検討 グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-4回目と合同）					【事前】 該当するイベント運営の準備を行う （1時間程度）				
5	イベント実践② イベント内容の決定 グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-5回目と合同）									
6	イベント実践③ イベント計画立案 グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-6回目と合同）									
7	イベント実践④ 運営マニュアル作成 グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-7回目と合同）									
8	イベント実践⑤ 運営準備 グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-8回目と合同）									
9	イベント実践⑥ イベントの実施（2コマ連続） （1年生：ゼミナールⅠ-9-10回目と合同）									
10										
11	イベントの振り返り （1年生：ゼミナールⅠ-11回目と合同）					【事後】 振り返りレポートを提出する（30分程度）				
12	マーケティング体験学習 集客施設フィールドワーク 事前研修 （1年生：ゼミナールⅠ-12回目と合同）					【事前】 視察先及び業界情報を調べてくる（1時間程度）				
13	マーケティング体験学習 集客施設フィールドワーク視察（2コマ連続） （1年生：ゼミナールⅠ-13-14回目と合同）					【事前】 事前に該当する訪問施設の情報をインターネット等から情報収集する（1時間程度）				
14										
15	リーダーシップ行動振り返り まとめ（全体を振り返って）グループワーク （1年生：ゼミナールⅠ-15回目と合同）					【事後】 振り返り最終レポート作成し提出する （1時間程度）				
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。									
参考文献	必要に応じて講義中に紹介する。									
備考	・ 第4回～第15回までの12コマは、1年生「ゼミナールⅠ」と合同実施とする。 ・ 課題はUNIPA経由での提出を基本とし、教員評価の後に各学生へフィードバックされる。適宜参考資料をUNIPA内に掲載する。 ・ グループワーク・チーム活動における情報共有にはMicrosoft Teamsを活用する。 ・ 受講者の要望、理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 ・ 準備学修は、各講義の際に必要なに応じて個別に指示する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
旅行会社で顧客に対するイベント企画提案、運営実践の経験がある。イベント業務管理士として、知識と実践に基づく学生指導を行う。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング BC-4-SEM-11				
		●	●	●	●					
科目名	ゼミナールⅢ				単位 認定者	薄葉 祐子		評価 の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC 学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生活に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。									
到達目標	①日本におけるダイバーシティマネジメントの現状と課題を理解できる。 ②社会調査データの分析、考察をすることができる。 ③ゼミ活動報告書を自分たちで作ることができる。									
学修者への期待等	・主体的にニュースや新聞記事、報告書等を読み、各自の関心テーマを深めてほしい。 ・ゼミを通して視野を広げ、仲間と助け合い、尊重し合いながら活動してほしい。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業ガイダンス、ダイバーシティについて					【事後】研究テーマの検討（概ね1時間）				
2	研究内容検討① 研究計画書作成					【事後】研究計画書を完成させる（概ね1時間）				
3	キャリアとは何か （1年生：ゼミナールⅠ -3回目と合同）					【事後】授業内課題1_報告レポート（概ね1時間）				
4	研究内容検討② 分析用の社会調査データの確認					【事後】分析に用いる社会調査データのリストを作成（概ね各1時間）				
5	データ分析① 社会調査データ分析					【事後】社会調査データの分析結果の取りまとめ（概ね各2時間）				
6	データ分析② 社会調査データ分析（続き）									
7	データ分析③ 分析結果の考察					【事後】考察を記述（概ね各1時間）				
8	データ分析④ 分析結果のまとめ					【事後】考察を記述（概ね各1時間）				
9	フィールドワーク					【事前】フィールドワークの準備（概ね1時間）				
10						【事後】授業内課題2_報告レポート（概ね1時間）				
11	研究報告書の作成					【事後】研究報告書を完成させる（概ね各2時間）				
12	研究発表会のプレゼン資料の作成① 発表スライドの作成					【事後】発表スライドを完成させる（概ね2時間）				
13	研究発表会のプレゼン資料の作成② 説明資料の作成、発表練習					【事後】発表会準備（概ね2時間）、 質疑応答についての回答準備（概ね2時間）				
14	研究発表会 合同演習 （1年生：ゼミナールⅠ -14回目と合同）					【事前】発表練習（概ね1時間） 【事後】授業内課題3_発表資料、自己評価シート、相互評価シート（概ね1時間）				
15	ゼミ活動の学びを振り返る					【事後】振り返りレポートの提出（概ね30分）				
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。									
参考文献	講義内で適宜紹介する。									
備考	1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。 2. 授業冒頭でニュース、重要経済指標の発表をする。 3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。 4. 授業内で提出した課題は、次回講義でまとめて講評する。 5. グループワーク中心の授業であり、適宜ディスカッションを交えて議論を深める。受講に際して心配や不安なことがある場合は、担当教員に相談すること。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング BC-4-SEM-11				
		●	●	●	●					
科目名	ゼミナールⅢ				単位 認定者	佐藤 和美		評価 の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	BC学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生活に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。									
到達目標	1. 企業と社会との連携の具体について実際に理解し、SDGsの推進について提案できる。 2. 仕事と社会貢献について実際に捉えることが出来る、社会福祉に意識を向けることが出来る。 3. グループワークや1年生との合同授業を通して、フォローアップ、リーダーシップを体得する。 4. 社会全体、人生の中での仕事の役割を探り、グローバルな貢献にも観点を持つことができる。									
学修者への期待等	皆さんが社会人として活躍する頃、日本の国民の3人に1人が65歳以上になると見込まれています。一般企業で働く場合でも、高齢の方への理解や適切な対応方法を知っていることは社会が求めるところです。また企業の福祉的役割について探しておくことは、就職活動やその後の社会貢献にも活かすことができます。 誰かに貢献できる一人になることや社会福祉主事任用資格取得を考えている方の履修を期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業計画の理解と目標設定、ゼミの進め方と評価方法等の理解(1年生：ゼミナールⅠ-第1回目と合同)					【事後】1回目授業で提示したワークシートの作成(概ね30分)				
2	「グループディスカッション」から研究課題を設定する					【事後】2回目授業で提示したワークシートに基づき研究課題を具体化する(概ね30分)				
3	研究課題についての考察～「ディベート」からの気づきを創る(1年生：ゼミナールⅠ-第3回目と合同)					【事後】「グループワーク/ディベート」の振り返りをまとめる(概ね30分)				
4	研究課題についての考察～「ディベート」と分析(1年生：ゼミナールⅠ-第4回目と合同)					【事後】分析結果をまとめる(概ね30分)				
5	研究課題についての調査～研究の方法の理解(1年生：ゼミナールⅠ-第5回目と合同)					【事後】授業で提示した計画シート等の作成(概ね30分)				
6	研究課題についての調査～報告とフィードバック(1年生：ゼミナールⅠ-第6回目と合同)					【事前】報告後の振り返りシートを作成する(概ね30分)				
7	研究発表①発表(1年生：ゼミナールⅠ-第7回目と合同)					【事前】発表聴講後のフィードバック・気づきをまとめる(概ね30分)				
8	研究発表②意見のまとめと「ディスカッション」(1年生：ゼミナールⅠ-第8回目と合同)					【事後】「グループワーク/ディスカッション」からの気づきをまとめる(概ね30分)				
9	研究発表について振り返りとフィードバック(1年生：ゼミナールⅠ-第9回目と合同)					【事後】授業で提示した振り返りシートの作成(概ね30分)				
10	企業訪問に向けて/SDGsアクションプランの観察(1年生：ゼミナールⅠ-第10回目と合同)					【事前】訪問企業について担当する分野を調査する(概ね30分)				
11	企業訪問とグループワーク(1年生：ゼミナールⅠ-第11回目と合同)					【事前】グループ毎に訪問の目的と役割の確認、整理をする(概ね30分)				
12	企業訪問と調査～ 訪問先の特性、SDGsへの取り組みや社会貢献、企業が求める人材について(1年生：ゼミナールⅠ-第12回目と合同)					【事後】企業訪問についてのレポート作成(概ね2時間)				
13	企業訪問を活かしたプレゼンシート作成					【事後】プレゼンシートを完成させる(概ね1時間)				
14	テーマについての「プレゼンテーション」(1年生：ゼミナールⅠ-第14回目と合同)					【事後】授業で提示した振り返りシートの作成(概ね30分)				
15	ゼミ活動からの学びの報告と振り返り(1年生：ゼミナールⅠ-第15回目と合同)					【事前】授業内で提示する(概ね1時間)				
教科書	授業内で必要に応じて提示する。									
参考文献	必要に応じて、適宜紹介する。									
備考	1. 授業内容は、進度などに応じて変更する場合がある。 2. 訪問先・調査対象については、授業内での話し合いから決定し、訪問先との交渉も実践・体験する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--